

## 授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 生活支援技術 I	授業の種類 (講義)	授業担当者 高木 明美	
授業の回数 30コマ	時間数（単位数） 60時間	配当学年・時期 1年通年	講師の実務経験 ○有 ・ 無
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重した生活援助技術を学習する</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活支援とは何か</li> <li>・ 居住環境の整備</li> <li>・ 家庭生活に関わる基本知識</li> <li>・ 家事の介護</li> <li>・ 緊急時対応の知識と技術</li> </ul> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活支援を理解する</li> <li>・ 自立を意識した居住環境の整備を理解する</li> <li>・ 家庭生活に関わる基本的知識を理解する</li> <li>・ 家事介護を理解する</li> <li>・ 緊急時の対応を理解する</li> </ul>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活とは何か</li> <li>2 生活支援の基本的な考え方</li> <li>3 日常生活の再構築・活性化</li> <li>4 生活支援における福祉用具の活用</li> <li>5 生活支援による介護予防</li> <li>6 居住環境の整備とは何か</li> <li>7 生活空間と介護</li> <li>8 居住環境のアセスメント</li> <li>9 安心して心地よい生活の場づくりの工夫</li> <li>10 集団生活の場における工夫・留意点</li> <li>11 家庭生活の営みとは</li> <li>12 生活設計の考え方</li> <li>13 快適な室内の環境整備</li> <li>14 食生活の基本知識</li> <li>15 被服生活の基本知識</li> <li>16 自立生活を支える家事の支援とは</li> <li>17 家事の支援におけるアセスメント</li> </ol>			

- 1 8 調理
- 1 9 洗濯
- 2 0 掃除・ゴミ捨て
- 2 1 裁縫
- 2 2 衣類、寝具の衛生管理
- 2 3 買い物
- 2 4 家庭経営、家計の管理
- 2 5 他職種の役割と協働・連携
- 2 6 想定される事故と予防の視点
- 2 7 緊急時における連携について
- 2 8 応急処置・緊急時対応の実際
- 2 9 外傷における処置
- 3 0 誤嚥における処置など 振り返り

[使用テキスト・参考文献]  
中央法規出版 生活援助技術 I

[単位認定の方法及び基準]  
(試験やレポートの評価基準など)

\* 評価基準は評価記入用紙による